

【基本教育科目/人間の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理と行動	NLA11_010	選択	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
森川三郎	417	s.morikawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	人間のライフステージ毎の心理的発達、感覚・知覚・認知、記憶、言語・知能、思考、動機づけ、学習、性格など心理学の基本的理論について学ぶ。この授業を通して、自分自身の心を眺め、家族や他者との関係について考え、職業生活や社会生活において求められる人間理解と心のケア技術に関する基礎的な知識を学習する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (「心理と行動キーワード集」の記載・作成)				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、講義中に受け付ける。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。各回の授業終了後にはリアクションペーパーを記載して、学んだ内容を振り返り、自分の知識として言語化(文字化)することが重要である。				
教科書	医療と健康のための心理学/編著：青木智子/出版社：北樹出版/2020				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人間及び自己理解のための心理学的な基本的知識を理解し、説明できる。		HSU(1)(2)、NS(1)		
②	人間理解と心のケアに関する基本的な知識や技法を理解し、説明できる。		HSU(1)(2)、NS(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	「学習及び行動」について概観し、様々な「学習」について学ぶ。	講義	テキスト第1章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
2	「動機・欲求・情動」について概観し、関係する諸理論を学ぶ。	講義	テキスト第2章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
3	「感覚・知覚・認知」について概観し、情報処理のプロセスを学ぶ。	講義	テキスト第3章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
4	「記憶」について概観し、記憶の仕組みと加齢変化を学ぶ。	講義	テキスト第4章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
5	「集団及び対人関係」について概観し、社会心理学的な側面を学ぶ。	講義	テキスト第5章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
6	「人格・性格」について概観し、心の病及び心理検査について学ぶ。	講義	テキスト第6章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
7	「生涯発達」について概観し、特に児童期までの発達を学ぶ。	講義	テキスト第7・8章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
8	「生涯発達」について概観し、青年期・老年期の発達を学ぶ。	講義	テキスト第9章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
9	「発達障害」について概観し、さまざまな発達の形について学ぶ。	講義	テキスト第10章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
10	これまで学習した内容から、各自2項目を選出し「心理と行動キーワード集」を作成する。	演習	これまでの学習内容から関心のある項目を選んでおく。	4	
11	「心理療法(精神分析療法)」の理論と実践について学ぶ。	講義	テキスト第11章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
12	「心理療法(行動療法・認知療法)」の理論と実践について学ぶ。	講義	テキスト第11章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
13	「心理療法(人間学的療法・来談者中心療法)」の理論と実践について学ぶ。	講義	テキスト第11章を予習しておく。授業資料を復習する。	4	
14	「心理と行動キーワード集」の作成の続き及び自身が担当した項目をプレゼンテーションするⅠ。	演習	自身のプレゼン項目の詳細について深く予習しておく。	4	
15	「心理と行動キーワード集」の自身が担当した項目をプレゼンテーションするⅡ。15回のまとめ。	演習	自身のプレゼン項目の詳細について深く予習しておく。	4	
試験	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【基本教育科目/人間の理解】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	30	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	授業終了後に定期試験を実施して評価する。試験内容は、授業全般を通した心理・心・精神に関する基本的な知識の理解のために、択一問題又は正誤問題を出題する。総合的な理解度の確認のためにテーマに関する記述問題を出題する。				試験採点后に、模範解答と試験結果に基づいた分析結果をメール等で学生に配信する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	○「心理と行動キーワード集」の各自が調べた2項目の内容に誤りが無いか確認する。 ○各自が調べた項目について、学生全員に対してプレゼンテーションを行う。				○キーワード集作成後にコメントする。 ○プレゼンテーション後にコメントする。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教 員 の 実 務 経 験		○精神科臨床看護師として20年以上の経験を有する。					
実 践 的 授 業 の 内 容		○精神科臨床看護師としてのこれまでの専門性と臨床経験を講義に生かしながら学習を進める。特に心の病(パーソナリティ障害・統合失調症・気分感情障害)については、実例を示しながら説明する。					
そ の 他		○授業時間中に生じた疑問・質問は、その都度対応する。それ以外は、授業終了後か、リアクションペーパーによって行う。また全体に関係する質問内容については、次回の授業開始時に回答する。個別のものメール等で回答する。 ○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性がある。					